

News Release

二酸化炭素・窒素の固定・資源化を進める環境バイオベンチャーの Symbiobe、 第三者割当増資により総額約 2 億円の資金調達を実施

Symbiobe 株式会社(本社：京都市西京区、代表取締役：後 圭介、以下、「Symbiobe」)は、Beyond Next Ventures 株式会社が運営する Beyond Next Ventures2 号投資事業有限責任組合、および京都大学イノベーションキャピタル株式会社が運営するイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合を引受先とした総額約 2 億円の第三者割当増資を実施しました。



Symbiobe は、京都大学大学院工学研究科材料化学専攻の沼田 圭司教授の研究成果である海洋性光合成細菌を用いた二酸化炭素・窒素の固定及びバイオマテリアル等の生産技術を基に、2021 年 1 月に設立した京都大学発の環境バイオのスタートアップです。

Symbiobe では、光合成(二酸化炭素固定)と窒素固定の両方の能力を併せ持つ海洋性光合成細菌の培養技術と有用物質生産技術を駆使することにより、二酸化炭素・窒素・海水の有効利用を起点とした次世代の資源循環型物質生産プラットフォームの構築を進めています。



これにより、地球温暖化、人類の食料危機、海洋プラスチック問題等の地球規模の課題解決に貢献し、持続可能な社会と産業が“あたりまえ”の世の中の実現を目指しております。

【資金使途】

Symbiobe ではこれまでに、海洋性光合成細菌を基にした農業用窒素肥料（Air Fertilizer）や水産養殖用飼料（Air Feed）、タンパク質繊維（Air Silk）の試作に成功し、また海洋性光合成細菌培養のデモンストレーションプラントを稼働させ、スケールアップに向けた研究開発を進めてきました。今回調達した資金を活用して、海洋性光合成細菌の培養プラントにおける二酸化炭素固定化の実証・スケールアップ、および各種プロダクト・ソリューションの実用化に向けた研究開発をさらに加速させるとともに、研究開発・事業開発に向けた組織体制の強化を進めてまいります。

Symbiobe 株式会社 会社概要

事業内容 光合成生物を用いた温室効果ガス固定及び産業用バイオマテリアル・農業用窒素肥料・水産養殖用飼料生産に関する研究開発及び製造・販売

設立 2021年1月

所在地 京都府京都市西京区御陵大原1番地39 京大桂ベンチャープラザ南館

代表者 代表取締役 後 圭介 (うしろ けいすけ)

URL <https://www.symbiobe.jp/>

【お問い合わせ】

Symbiobe 株式会社

京都府京都市西京区御陵大原1番地39 京大桂ベンチャープラザ南館

Email: contact@symbiobe.jp